

平成25年4月 東京地区百貨店売上高概況

平成25年5月20日

I. 概況

1. 売上高総額	1,239億円余
2. 前年同月比	2.1% (4か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭2.8%(88.8%) : 非店頭-3.3%(11.2%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成25年3月対比±0店)
5. 総店舗面積	899,109㎡ (前年同月比:-1.3%)
6. 総従業員数	19,417人 (前年同月比:1.6%)
7. 3か月移動平均値	9-11月 0.9%、10-12月 0.1%、11-1月 0.7%、 12-2月 0.3%、1-3月 3.2%、2-4月 3.8%

[参考] 平成24年4月の売上高増減率は6.7% (店舗数調整後)

【4月売上の特徴】

- (1) 入店客数の状況については、天候不順や日曜日1日減の影響から、増床・改装店舗を除くと概ね3~4%減で推移した。
- (2) 高額品は、5割増ペースの高級時計を中心に絵画などにも動き(美・宝・貴:+33.0%)が見られたほか、呉服、高級寝具、高級食器、さらには高級ワインなども伸びている。
- (3) 価格改定が相次いだラグジュアリーブランドは、値上げ直後に一時的な売行鈍化が発生したものの、ほどなく増勢基調を回復しており、現時点で大きな影響は見られない。
- (4) 入店状況の不振を挽回すべく、都内各店で積極的な催事展開が行われ、定番の地方物産展、外国展、スプリングセールなどをはじめ、伝統工芸や生け花など日本文化に関連した文化催事も活況であった。
- (5) 5月中旬までの商況は、概ね前年同月比5%増の水準で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比+0.8日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数20店舗)
①増加した: 6店、②変化なし: 1店、③減少した: 13店
- (3) 4月歳時記(春物商戦、新生活、花見、昭和の日)の売上 (同上/有効回答数14店舗)
①増加した: 4店、②変化なし: 6店、③減少した: 4店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値/有効回答数20店舗)
①増加する: 6店、②変化なし: 12店、③減少する: 2店、④不明: 0店

東京地区百貨店 売上高速報 2013年04月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	123,971,776	100.0	2.1
紳士服・洋品	10,591,392	8.5	2.4
婦人服・洋品	26,359,694	21.3	2.4
子供服・洋品	2,918,732	2.4	-2.6
その他衣料品	2,269,925	1.8	6.8
衣 料 品	42,139,743	34.0	2.3
身のまわり品	17,954,428	14.5	4.0
化粧品	6,799,273	5.5	1.5
美術・宝飾・貴金属	8,464,969	6.8	33.0
その他雑貨	5,956,954	4.8	-10.8
雑 貨	21,221,196	17.1	7.5
家具	2,157,164	1.7	16.8
家電	852,133	0.7	11.0
その他家庭用品	4,692,041	3.8	-5.3
家 庭 用 品	7,701,338	6.2	1.7
生 鮮 食 品	4,574,565	3.7	-0.1
菓 子	7,068,937	5.7	-1.5
惣 菜	6,075,451	4.9	-4.3
その他食料品	8,002,858	6.5	-0.9
食 料 品	25,721,811	20.7	-1.7
食 堂 喫 茶	3,108,111	2.5	1.5
サ ー ビ ス	2,816,438	2.3	-6.6
そ の 他	3,308,711	2.7	-2.7

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率 (%)
商品券	2,827,426 千円	-21.8
従業員数	19,417 人	1.6
店舗面積	899,109 m ²	-1.3
営業日数	30.0 日	前年 29.2 日

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品が6か月連続、衣料品が3か月連続、雑貨が2か月連続、家庭用品が2か月ぶりのプラス。食料品が4か月ぶりのマイナスとなった。また、化粧品が9か月連続、美術・宝飾・貴金属が4か月連続、紳士服・洋品、婦人服・洋品、家具が3か月連続、その他衣料品が3か月ぶり、家電が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	2.1	—	4か月連続プラス
紳士服・洋品	2.4	0.2	3か月連続プラス
婦人服・洋品	2.4	0.5	3か月連続プラス
子供服・洋品	-2.6	-0.1	5か月連続マイナス
その他衣料品	6.8	0.1	3か月ぶりプラス
衣料品	2.3	0.8	3か月連続プラス
身のまわり品	4.0	0.6	6か月連続プラス
化粧品	1.5	0.1	9か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	33.0	1.7	4か月連続プラス*
その他雑貨	-10.8	-0.6	12か月連続マイナス*
雑貨	7.5	1.2	2か月連続プラス
家具	16.8	0.3	3か月連続プラス
家電	11.0	0.1	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	-5.3	-0.2	12か月連続マイナス
家庭用品	1.7	0.1	2か月ぶりプラス
生鮮食品	-0.1	0.0	3か月連続マイナス*
菓子	-1.5	-0.1	4か月ぶりマイナス*
惣菜	-4.3	-0.2	2か月ぶりマイナス*
その他食料品	-0.9	-0.1	4か月ぶりマイナス*
食料品	-1.7	-0.4	4か月ぶりマイナス
食堂喫茶	1.5	0.0	6か月連続プラス
サービス	-6.6	-0.2	2か月ぶりマイナス
その他	-2.7	-0.1	3か月ぶりマイナス
商品券	-21.8	-0.6	24か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>